ひろなか　まこと
弘中　誠
「道の駅あさひ」店長

01
-北部-

応募のきっかけは？

2010年に「萩ものしり博士検定」に合格し、その当時住んでいた広島県から定期的に萩へ通いながら、合格者を対象とした現地研修ツアーなどの企画運営に携わっていました。

そんな中、地元の人とのつながりもでき、いつしか「萩で生活をしてみたい」と思うようになり、当初は「定年退職後に移住しよう」と思っていました。しかし、勤めていた会社の仕事量が増え、昼夜を問わず働くようになり、「人生このままで良いのか」と考えるようになりました。

2015年に協力隊の存在を知り、「奇兵隊パレード」に参加した後の打ち上げ時に、協力隊の担当者に思いきって相談すると「あなたのような人は大歓迎」と言われ、応募の決心がつきました。

「道の駅あさひ」の美味しい日替わり弁当

隊員時代の思い出を教えてください

佐々並の国選定重要伝統的建造物群保存地区（伝建地区）にリニューアルオープンした交流施設「萩往還おもてなし茶屋」を盛り上げるという明確な目標があり、「人を通して萩の魅力を伝えていきたい」との思いでガイドスタッフ等の業務をしました。

伝建地区を中心としたネットワークづくりや観光客を呼び込む仕組みづくりにも取り組み、全国伝統的建造物群保存地区協議会にも何度か参加させていただきました。

成長したな、と思えることは？

多くの人とつながりが持てただけでなく、生活をしていく上での良いネットワークができ、そのお陰で今があると思っています。

大変だったことは？

協力隊の生活を始めた1ヶ月間は、「本当にこれで良かったのか」と自問自答し、夜はうなされて目が覚めることが多かったです。新しい経験を積み重ね、多くの人と交流していく中で不安は解消されました。

現在、そしてこれからについて

現在は「道の駅あさひ」で店長をさせてもらっています。これは任期中に目指していたものではなく、偶然の連続の結果によるものです。

近い将来、買い物のできる店が道の駅だけになると予想されるため、機能強化や協同を模索し、地域の中心的な役割が担える特徴ある道の駅にしたいです。地域に根差した仕事ができるようにもなりたいです。

協力隊を目指す人や後輩に伝えたいこと

多くの人とつながりを持つことが最も大切なことだと思います。これを抜きに成立しません。「今しかできないこと」「ここでしかできないこと」を精一杯やってください。その地域の文化と歴史はしっかり勉強してほしいです。

隊員時代：萩アクティビティパークにてママチャリレースに参加▶

ひろなか　まこと
弘中　誠さん

協力隊として

| 着 任 地 | 萩市
| 活動期間 | 2016年10月～2019年5月
| 活動内容 | 佐々並伝建地区の活動支援や佐々並地域づくりの支援

現在の仕事

「道の駅あさひ」店長

| ホームページ |
http://www.hagi.machi-navi.jp/html/specialty_89.html

米麹でつくられた名物「あまぎゃあ」

弘中さんのあゆみ

- 2010.11　「萩ものしり博士検定」合格
- 2015.04　会社の仕事量が増え、将来を考えるようになる
- 2016.09　退職
- 2016.10　協力隊着任
- 2017.04　交流施設「萩往還おもてなし茶屋」
- 2017.05　リニューアルオープン
- 全国重伝建地区協議会（茨城県）へ参加
- 2018.03　結婚
- 2019.05　全国重伝建地区協議会（秋田県）へ参加
- 協力隊卒業
- 2020.05　「道の駅あさひ」店長